

短期集中
リハビリ入院の
ご案内

脳卒中後遺症の
手足のつっぱりにお困りの方

ボツリヌス療法 リハビリ入院



このようなことでお困りではありませんか？

手が握ったままで
開きにくい

肘が曲がって
着替えにくい

足がつっぱって
歩きにくい



ボツリヌス療法
とは

脳卒中後遺症には痙縮（けいしゅく）という症状があります。痙縮とは筋肉が緊張しすぎて手足が動かしにくかったり、勝手に動いたりしてしまう状態のことです。ボツリヌス療法では、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える「ボツリヌストキシン」というお薬を注射して、筋肉の緊張をほぐします。



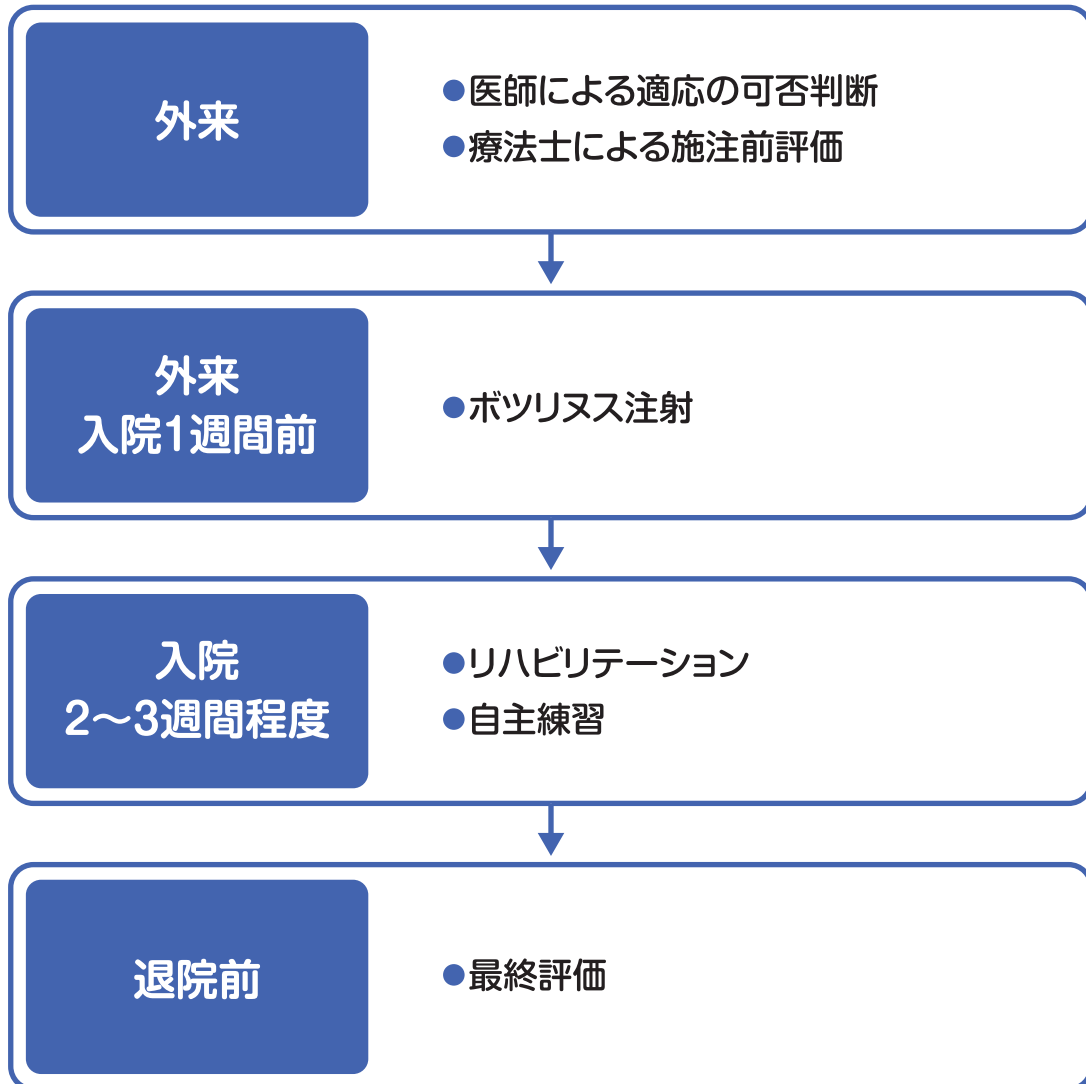
ボツリヌス療法
の効果

- 手足の筋肉がやわらかくなり、動かしやすくなることで日常生活動作が行いやすくなる
- 手足のつっぱりによる痛みがやわらぐ
- 関節が固まって動きにくくなったり、変形したりするのを防ぐことができる

などの効果が期待できます。

ボツリヌス療法 短期集中リハビリ入院の流れ

入院日にボツリヌス注射を行います。
その後2～3週間の期間で、
療法士とのリハビリと自主練習を行っていただきます。



対象となる方

脳卒中後遺症の痙縮により日常生活に支障を感じている方

※介護保険のリハビリを受けておられる方は対象とならない場合があります

●お問い合わせ先



社会医療法人平成醫塾

苦小牧東病院

地域連携室

TEL.0144-55-8811